

令和3年度 鹿児島県中学校総合体育大会バスケットボール競技
新型コロナウイルス感染症対策要項

1 大会参加者

- (1) 大会に参加するにあたって、参加者を以下のようにグループ分けを行う。
- ・グループ1 (必須)：選手，引率者，チームスタッフ，審判，大会役員，メディカルスタッフ
 - ・グループ2 (望ましい)：メディア
 - ・グループ3 (非必須)：保護者，観客
- (2) 鹿児島県が出すイベントに対する制限や，各会場の状況に応じて，グループ3については入場制限を行う場合がある。入場制限がなくても，リスクを理解した上で参加することとする。
- (3) 大会参加者は以下の項目を厳守する。
- ①体調の異変を感じた際は，自主的に参加を見合わせる。
(大会当日に別紙1「体調記録表」にて確認)
 - ②大会参加者全員のマスク着用
 - ③県中体連が示す注意事項の厳守
 - ④大会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告
 - ⑤大会期間前後、期間中の行動確認の記載
(別紙4「行動履歴書」にて)

2 参加チームにおける感染対策

チーム内において感染対策責任者を定め、感染対策者は、必要な感染対策を講じる。

(1) 事前準備

- ①チームの感染対策責任者は各会場の感染対策責任者を把握する。
- ②試合に参加する上での注意事項を選手・保護者・スタッフ全員が理解する(不安がある場合は参加を見送る)。
- ③チームの感染対策責任者は、チームに関係する参加者(グループ3を含む)の人数を把握する。
- ④別紙1「体調記録表」を活用し、大会開催日まで健康チェックを行う(大会開催日前後2週間の検温と行動確認)。
- ⑤選手の保護者が会場、日時、対戦相手を理解しており、参加を了承している。(了承しない場合は無理に参加させない。)
- ⑥試合後のベンチ、観客席等を消毒するための消毒用具を準備する。
- ⑦保護者やチームに関係する観客には以下の点を守ってもらうよう事前に連絡する。
 - ・具合の悪い人には来場を見合わせてもらう。
 - ・マスクを着用してきてもらう。
 - ・ソーシャルディスタンスを保つ。
 - ・声を出しての応援は控える。
 - ・該当チームの試合がないときは、会場に入らない。(別途時間を設定する)

(2) 往復の移動

- ①マスクを着用する。
- ②公共交通機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。
- ③窓を開ける等、換気が良くなる工夫をする。
- ④切符を買うために使う指を限定し、その際使用した指で顔や目を触らない。
- ⑤公共交通機関内では、常に他社と距離をとり、会話も控える。
- ⑥目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を洗い、消毒、うがいをする。
- ⑦寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。

(3) 試合前

- ①選手、チームスタッフ、保護者はマスクを着用する。
- ②各チームの感染対策責任者はチームに関係する参加者（グループ3を含む）の体調を別紙1「体調記録表」により確認し、別紙2「学校同行者体調記録表」を各会場の感染対策責任者に提出する。また、指導者、引率者、生徒以外の保護者、大会役員、審判等は、別紙3「来場者体調記録表」を各会場の感染対策責任者に提出する。提出された別紙2、3は専門部で保管する。
- ③着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
- ④更衣室が狭い場合の行為の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっぱなしにする。
- ⑤握手やハイタッチ等を行わない。
- ⑥円陣は行わない。

(4) 試合中

- ①チームスタッフ、ベンチに座る選手は原則マスクを着用する。
- ②プレー以外の不要な接触を避ける（得点後の喜び、交代時の握手等）。
- ③コート上でチームメイト、審判員と会話をする際にも距離についてしっかりと配慮する。
- ④ベンチでの選手間の距離を極力保つ。
- ⑤交代の選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。
- ⑥水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルをつけない。
- ⑦ボトルを他の選手と共有しない。
- ⑧タオル等、リネンを他の選手と共有しない。
- ⑨更衣室に戻る前に消毒や手洗いをする。
- ⑩選手交代後においても消毒や手洗いをする。
- ⑪退席や退場の際等、審判員と会話をするのがあったとしてもその距離には十分に配慮する。
- ⑫試合後のチーム、審判員との挨拶、相手チームへのベンチへの挨拶は行わない。

(5) 試合後

- ①会場内でのミーティングは行わない。
- ②試合後、チーム関係者（選手・保護者等）でベンチ・応援席の消毒を行う。

- ③更衣室が狭い場合の行為の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっぱなしにする。
- ④着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。
- ⑤試合会場のルールに従い、ごみを密封した状態で処分するか、持ち帰る。

(6) 帰宅後の過ごし方

- ①手洗いうがいを徹底する。
- ②バランスの良い食事をとる。
- ③検温とともに別紙1「体調記録表」を書く。
- ④早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。

(7) 事後対応

- ①帰宅後14日以内にチームの中から感染者が出た場合は、専門部に速やかにその旨を伝える。

3 会場における感染対策

(1) 準備

〔本部、審判控室等〕

- ①各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- ②すべてのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ③ドリンクを冷やすためのアイスボックス・イベントクーラーは使用しない。
- ④座席を設置する際に前後左右1.5～2m間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する。

〔トイレ・手洗い場所〕

- ⑤手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ⑥手洗い後に手を拭くためにペーパータオルを用意する。
- ⑦アルコール消毒液を設置する。

〔更衣室〕

- ⑧広さはゆとりを持たせ利用者同士が密になることを避けること。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限したり別室を用意したりするなどの措置を講じる。
- ⑨室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については消毒する。
- ⑩換気扇を常に回したり、2つ以上のドア、窓を常時開放したりして換気を行う。

〔保護者・観客対応〕

- ⑪観客には以下の点を守ってもらうよう事前に張り紙を提示する。
 - ・具合の悪い人は来場を見合わせる。
 - ・マスクを着用する。
 - ・ソーシャルディスタンスを保つ。
 - ・声を出しての応援は控える。

⑫会場内各所に設置するアルコール消毒液を準備する。

〔コート周辺〕

⑬ベンチ及び TO 席はゆとりをもって設置する。

⑭TO 席に消毒液を準備する。

(2) 試合前

①各チームの感染対策責任者を確認する。

②両チーム、審判との握手を実施しない。

③試合前後のチーム集合写真撮影は行わない。

④円陣を行わない。

⑤得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。

⑥同じボトルを他の選手と共有しない。

⑦タオル等を他の選手と共有しない。

⑧コート上でチームメイト、審判員と会話する際も距離についてしっかりと配慮する。

⑨TO（フロアーキーパーを含む）は原則マスクを着用すること。

⑩TO が終わった後は、使った機器の消毒を行う。

(3) 試合後

①更衣室など窓を開け、更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。

②チームがメディアからの取材を受ける場合には、記者と選手の間隔を 2 m、また取材者同士の間隔を最低 1 m 以上保つことを徹底する。

③試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分する。

④チーム出発後、更衣室及び審判控室の消毒を行う。

⑤担架等を使用した場合は、消毒を行う。